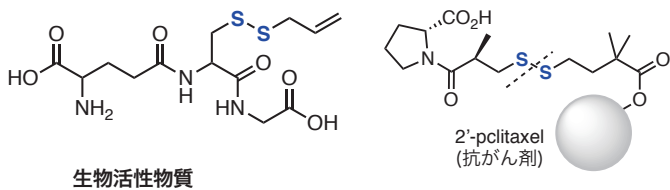


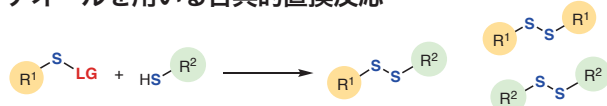
生命科学分野での応用を志向した、 ポリスルフィド類の合成基盤の整備

研究代表者 福澤 信一 研究員

ジスルフィド構造



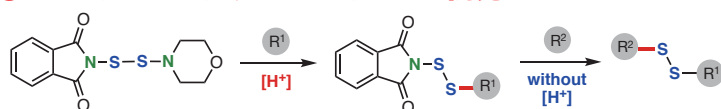
チオールを用いる古典的置換反応



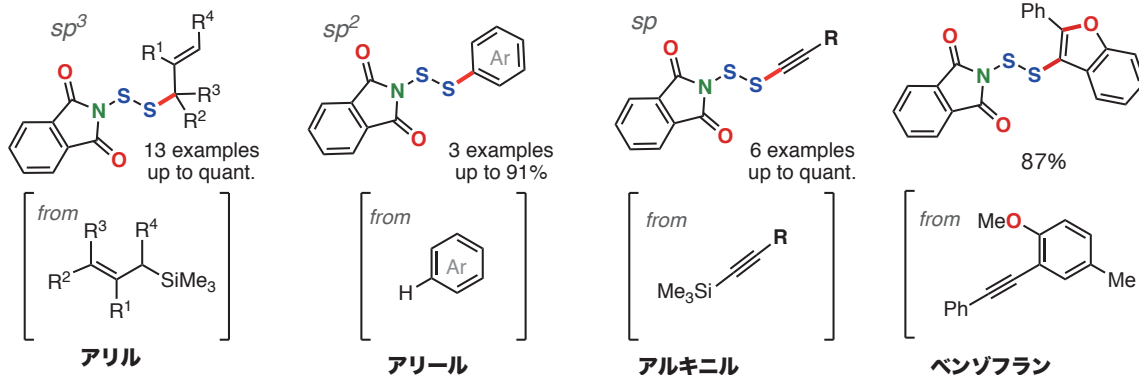
チオールを用いる近代的置換反応



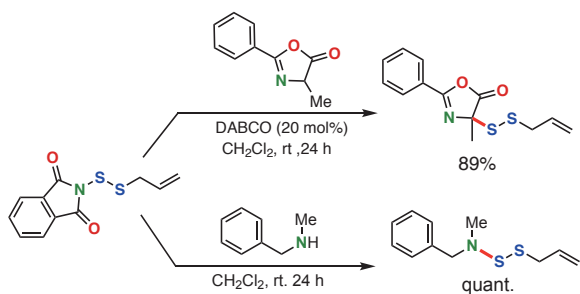
① ジスルフィドプラットフォームの開発



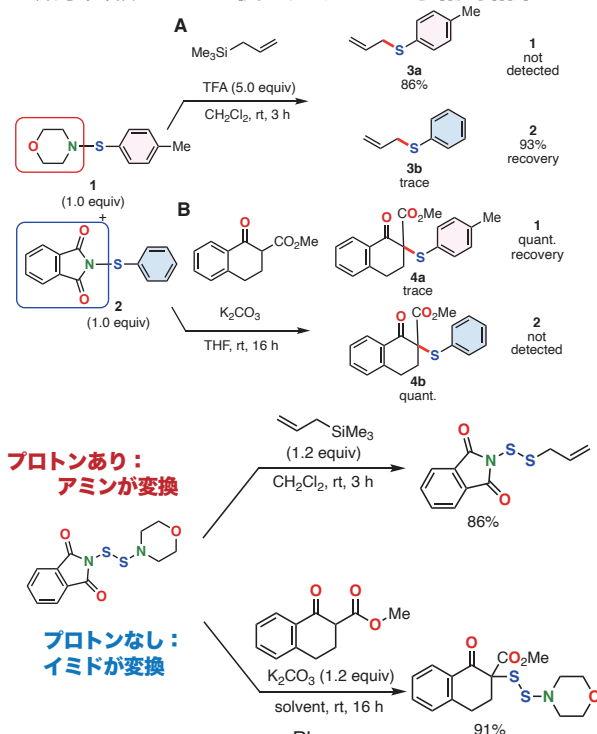
② 新たな変換反応の開発：多様性合成の達成



アズラクトンやアミンの導入法の開発に成功



分子間での競争実験において使い分けられる予備的結果



- ✓ アミノ基とイミド基を使い分け可能な、ジスルフィドプラットフォームの設計・合成に成功
- ✓ 酸の存在下でアミノ基側に、アリル基、アルキニル基、アリール基を選択的に導入する手法の開発に成功(step 1)
- ✓ 酸の非存在下でイミド基側に、アズラクトンやアミンを導入する手法の開発に成功(step 2)
- ✓ 二度の選択的変換により、多彩な組み合わせの置換基を有するジスルフィド誘導体の多様性合成に成功